

## 日本眼科学会倫理委員会 議事録

日 時：令和 4 年 8 月 22 日（月）

場 所：E-mail 会議

出席者：新家 眞委員長

相原 一、北岡 隆、坂本泰二、佐藤美保、澤 充、西田輝夫、  
山本哲也 各委員（自然科学有識者・眼科医）

大林雅之、光石春平 各委員（人文・社会科学の有識者）

森 正勝委員（一般の立場代表者）

欠席者：なし

議 題：研究課題名「次世代眼科医療を目指す、ICT/人工知能を活用した画像等データベースの基盤構築」プロジェクト 2（前眼部の診断）およびプロジェクト 3（眼部腫瘍の診断）の研究計画書等の変更

議 事：

1. 新家委員長が議長となり、議事が進行された。
2. 一般社団法人 Japan Ocular Imaging Registry が実施する「次世代眼科医療を目指す、ICT/人工知能を活用した画像等データベースの基盤構築」プロジェクト 2（前眼部の診断）の研究代表者大鹿哲郎氏から、研究責任者の追加と情報管理責任者の変更に伴う研究計画書と研究対象者への情報公開文書の変更の申請があり、提出された研究計画書等に基づき審査を行った。その結果、全会一致で承認することとした。ただし、学術研究目的での限られた機関内でのデータ利用の段階ではなく、収集したデータや作成されたソフトウェアの第三者への提供等を現実に検討することとなった際は、その時点の事実関係や法律・ガイドラインに照らして研究計画書に齟齬がないか改めて確認のうえ、疑義があれば当委員会に付議することを条件とした。
3. 一般社団法人 Japan Ocular Imaging Registry が実施する「次世代眼科医療を目指す、ICT/人工知能を活用した画像等データベースの基盤構築」プロジェクト 3（眼部腫瘍の診断）の研究代表者大鹿哲郎氏から、研究責任者の追加、研究参加施設の追加、および情報管理責任者の変更に伴う研究計画書と研究対象者への情報公開文書の変更の申請があり、提出された研究計画書等に基づき審査を行った。その結果、全会一致で承認することとした。ただし、

学術研究目的での限られた機関内でのデータ利用の段階ではなく、収集したデータや作成されたソフトウェアの第三者への提供等を現実に検討することとなった際は、その時点の事実関係や法律・ガイドラインに照らして研究計画書に齟齬がないか改めて確認のうえ、疑義があれば当委員会に付議することを条件とした。

以 上